



夏

東浦町の四季



2



3

提供：大府東浦花火大会実行委員会



4



5

夏のイチオシ

1 東浦町の特産品 ぶどう(巨峰)

昭和35年ごろから、丘陵地を利用して巨峰の栽培がはじまりました。東浦の巨峰は房が大きく甘みも強いです。近年は巨峰をはじめとした黒系ぶどう、クインニーナを含む赤系ぶどう、シャインマスカットでおなじみの白系ぶどうなど約20種類を育て、販売しています。8月中旬から9月中旬までおいしいぶどう狩りが楽しめる農園もあります。また、東浦町のぶどうの栽培面積は愛知県内で1位です(※)。

※出典:愛知県のぶどう・いちじく生産の概要 愛知県市町村別栽培状況(2021年産)

2 オニバス

絶滅危惧種に指定されている日本産オニバス。於大公園のオニバス池では、オニバスの保護活動を行っています。オニバスは葉が大きくなり、花が咲く8月中旬～9月上旬に見頃を迎えます。

3 大府東浦花火大会

大府東浦花火大会は、大府東浦花火大会実行委員会によって開催され、打上花火など臨場感あふれる花火が会場を盛り上げています。

4 東浦リボンビール

東浦町の特産品であるぶどう(巨峰)の「摘果ぶどう」を使用した、東浦町オリジナルクラフトビールです。「摘果ぶどう」とは、良質なぶどうを作るために、生育途中で間引いた、ぶどうのこと。リボンビールの材料となる摘果ぶどうは夏に収穫され、ビールづくりが始まります。今まで摘果ぶどうは廃棄されていましたが、そんな摘果ぶどうを有効活用しようと、多くの方のアイデアで2022年に誕生しました。

5 盆踊り

子どもから大人まで、やぐらの周りに輪を作り、音頭に合わせて楽しく踊る光景は夏の風物詩となっています。